

市民国際プラザ — ダイジェスト —

第101号 (2021年2月26日発行)

地域に飛び出す市民国際プラザ！

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の**先進的な活動**を実際に取り上げ、本ダイジェストで紹介しています。

○ (特活) 地球市民の会 (上段) / サワディー佐賀 (下段)

2021年1月29日 場所：ZOOMオンライン

◆ 日本からアジアへ。アジアから日本へ—国際協力と多文化共生は活動の両輪

佐賀県佐賀市で活動する(特活)地球市民の会。アジア諸国との国際協力や九州地域での、国際交流、多文化共生を推進します。本日は事務局の山路健造氏を中心に、岩永清邦事務局長も交えて、お話を伺いました。同団体は1983年に古賀武夫氏(故人)が設立。当初は韓国との国際交流が中心でした。国際協力へと舵を切ったきっかけは九州で出会ったあるタイ人のソーシャル・ワーカーのご発言。「日本人はバナナか」。



↑ 教育のためのミャンマー奨学金事業の1コマです。

同じ黄色人種だけど欧米ばかりを見ていて中身は白い、との揶揄でした。この発言に衝撃をうけタイを訪問した古賀氏は人々が笑顔なことを知り、また衝撃が。「豊かさとはなにか?」について考えるきっかけとなったそうです。その後、タイで学校建設などに携わるとともにスリランカやミャンマーへの支援も行っています(奨学金、シャン州南部とチン州での村落開発事業など)。現在、タイ現地の支援は卒業し、後者の国々との交流や支援が活動の中心です。

2009年からは地元の佐賀県にも活動の場所を広げます。中山間地域の元気再生事業として地域の伝統の継承や世代間の交流などの推進にも努力します。また「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に子どもの居場所づくり事業も。他にもSDGsの推進を活動の柱とする中小企業向けのコンサル支援、CSRの促進などにも従事。ミャンマー、タイ、スリランカの方々を主な対象とする災害ネットワークの形成など国際的な側面も忘れていません。

国際交流に始まり国際協力へ。さらにはSDGsや多文化共生を始めとする国内分野の推進も。「幅広い活動ですね・・・」とお話を振ると、山路さんからは「多文化共生と国際協力の推進は両輪。世界中に幸せを届ける地球市民の会として『どちらがどちら』ということはないですよ」とのお返事が。これからも両者をむすびつける活動を展開していく(特活)地球市民の会。

ますますその活動から目を離すことができません!!

◇ (特活) 地球市民の会ウェブサイト: <http://www.terrapeople.or.jp/main/>

◆ 佐賀県とタイのつながり—領事館も巻き込んだタイ・ネットワークの構築

続けて山路さんから伺ったのはサワディー佐賀の諸活動。同団体は一言でいえば「タイ人やタイが大好きな人のネットワーク」。2018年にボランティア団体として(特活)地球市民の会から派生しました。その活動は、留学生や介護を学ぶために来日するタイ人への支援、佐賀県のインバウンドの促進、両国間の交流、災害ネットワークの構築、タイフェスティバルの開催など多岐に渡ります。新型コロナ禍では総務省情報などを随時タイ語に翻訳し情報発信しました。これらの活動ぶりは在福岡タイ王国総領事館がお墨付きを与えるほど。総領事からは「領事館の支部として考えています」とのお言葉が。令和2年度総務省ふるさとづくり大賞(団体表彰)も受賞しました。様々な活動単位を巻き込み多文化共生を推進する団体。今後注目すべき団体です!

◇ 佐賀新聞LIVE: 「サワディー佐賀が「ふるさとづくり大賞」受賞を知事に報告」(2021年2月16日付)
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/631610>



～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね!」をお願いします! ♪



(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp

市民国際プラザ – ダイジェスト –

第101号 (2021年2月26日発行)

地域に飛び出す市民国際プラザ！

『市民国際プラザ』では、国際協力や多文化共生に関する自治体、地域国際化協会、NGO/NPO等の相談に対応しています。更に、各地の**先進的な活動**を実際に取材し、本ダイジェストでご紹介しています。

○国際交流NGO Viva おかざき!! (愛知県岡崎市) 2020年8月31日 場所：ZOOMオンライン

◆国籍や文化の壁を越えて誰もが「住んでよかった Viva (=バンザイ) おかざき」と思える地域社会を目指して

「Vivaおかざき!!」は岡崎市を中心に活動しているNPOで、2010年に岡崎市の国際交流ボランティアで出会った日本人とアルゼンチン人との3人で立ち上げました。今回、代表理事の長尾晴香さんにお話を伺いました。

外国人が愛知県内4位の同市。自動車関係の工場で働く中南米出身者やアジアからの技能実習生だけでなく、日本で生まれ育った外国ルーツの子どもたちなど多様な外国人が暮らしています。彼らが活躍するための支援や日本人と顔の見える関係づくりの必要性も感じ、活動をはじめました。

当初はセミナーや交流イベント中心に行い、2015年からは日本語教育事業も開始し、子どもや成人向けの教室も開催してきました。外国人も設立メンバーである同会にとって外国人は「支援される存在」ではなく「共に地域に暮らす仲間」です。その考えのもと、地域で外国人と日本人を繋ぐ人材の育成として、災害時に支援者になる外国人住民のための日本語教室や地域を巻き込んだ「宿泊避難所訓練」などにも精力的に取り組んできました。

今後は地域の中でのつながり作りに加え、派遣社員など不安定な就労形態となりがちな外国人のキャリア形成の後押しや、子どもたちのサポートを強化したいと考えています。キャリア支援の事業では、企業も巻き込んだ形で展開することを考え、2018年に株式会社 link design lab を設立しました。地域とキャリアの両方から、外国人住民が日本で活躍できる社会づくりを行っていきたくと考えています。共生のために重要なのは「接点を増やすこと」、そして「双方にメリットをもたらすこと」と長尾さん。思索的で穏やかな印象ですが、その秘めたパワーには圧倒されました。

誰もが生き生きと暮らせる豊かな地域づくりを目指して走り続ける Vivaおかざき!! を、皆さんも是非応援してください。

◇ Vivaおかざき!! ウェブサイト：<https://viva-okazaki.com/>



↑子どもの日本語教室参加者の皆様です。

○令和2年度多文化共生の担い手連携促進研修会 2020年12月17日 場所：ZOOMウェビナー

「外国人の子育て支援」をテーマとして開催しました。全国の地方自治体、地域国際化協会、NGO・NPO、大学関係者など多様なセクターから250名を超える皆様方にご参加頂きました。土井佳彦氏((特活)多文化共生マネージャー全国協議会)による進行の下、岡上直子氏((公社)全国幼児教育研究協会)の基調講演、鈴木貴之氏(西尾市教育委員会)、川上貴美恵氏(多文化ルームKIBOU(社福)せんねん村)による事例報告を通じて、外国にルーツのある子どもたちへの支援の在り方について考える機会となりました。この場をお借りしてご登壇・ご協力頂いた皆様方に厚く御礼申し上げます。

◆ウェブサイト / 情報掲示板 リニューアル公開のお知らせ!!

市民国際プラザのウェブサイトが新しくなりました。多文化共生、国際協力、SDGs などに関する様々な情報を発信中です。また団体様向けに情報掲示板も運営しています。是非ご登録の上、ご活用ください。

・ウェブサイト：<http://www.plaza-clair.jp/>

・情報掲示板：<https://theshare.info/clairjanic/> (外部サイトとなりますのでご注意ください。)



～ 市民国際プラザを広く皆様に知っていただくために～

市民国際プラザのFacebookに「いいね！」をお願いします！ ♪



(一財)自治体国際化協会 市民国際プラザ

URL <http://www.plaza-clair.jp> E-mail international_cooperation@plaza-clair.jp